

森里川海の恵み、 地域のあしたを考える。

私たちの生きる基盤、森里川海の恵みを認識し、
未来の世代につなげていく取り組み、
それが「つなげよう、支えよう 森里川海」プロジェクトです。
その取り組み内容や自然を活かした
地域活性化への取り組みを紹介し、
豊かな森里川海と地域のこれからを考えます。



つなげよう、支えよう森里川海
シンポジウム in 羽村

12月11日 (金)

会場：羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」小ホール



つなげよう、支えよう森里川海 シンポジウム in 羽村

日時：12月11日(金) 15:00～17:30

会場：羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」小ホール
(〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘1丁目11-5)

プログラム

- 15:00 主催者挨拶 井上信治 環境副大臣 (予定)
15:05 開催地挨拶 並木 心 羽村市 市長
15:10 森里川海プロジェクトについて 環境省自然環境計画課長 鳥居敏男
15:25 基調講演 小倉紀雄 (美しい多摩川フォーラム副会長 / 東京農工大学名誉教授)
「美しい多摩川フォーラムの取組、流域で取組む市民参加の水質調査」
16:05 基調講演 八幡 暁 (海洋冒険家 / 羽村市出身)
「多摩川からはじまった水を巡る旅」
16:35 パネルディスカッション「森里川海を見つめ、地域で活かそう」
多摩川流域一体として、人と自然環境の共生や保全・活用をはかるための仕組みについて考える

コーディネーター：小倉紀雄 (美しい多摩川フォーラム副会長)
パネリスト：ダニエル・カール (美しい多摩川フォーラム副会長)
石坂真悟 (多摩川源流大学現地責任者)
八幡 暁 (海洋冒険家)
鳥居敏男 (環境省自然環境計画課長)
(敬称略)



小倉紀雄 (おぐらのりお)

1940年3月東京都生まれ。東京国立大学大学院修了。理学博士。1967年東京都立大学助手、1974年東京農工大学助教授を経て、1985年教授。2003年東京農工大学名誉教授。2009年日野市環境情報センター長。河川・清水などの水質・水量など水環境保全の調査研究。市民による水質調査の推進、市民環境科学の提唱。著書に「水質調査法」、「調べる・身近な水」、「市民環境科学への招待」など。美しい多摩川フォーラムの副会長も務める。



八幡 暁 (やはた さとる)

1974年東京都生まれ。現在函子市在住。大学時代より海に目覚め、野球、アメフトから転向。兼もぐり漁をハ丈島をはじめ、大学卒業後は各地の漁師の仕事を見ながら、国内外をまわる。「海とともに暮らす人々、どのように生きているのか」をテーマに、オーストラリアから日本にかけての多島海域を舞台にした「グレートシーストプロジェクト」を2002年にスタート。世界初となる航海記録を複数持つ。2005年にはシカゴバックガイドサービス「手漕ぎ屋瀬田ちやらねしあ」をスタート。既存の枠を超える価値を生み出し、ツアーガイドとしてもチャレンジ続ける。2011年から、日本全国の漁村を訪ね漁師に話を聞く「海漁路」を実施中。2012年TBS系テレビ「情熱大陸」に出演。2014年より都市生活における水辺を取り戻す活動「じゅぶらび」を開始。



ダニエル・カール

米国カリフォルニア州出身。高校時代に交換留学生として来日して以来、日本での様々な経験をを経て、タレントとして活躍。美しい多摩川フォーラム副会長としても活躍し、毎年「多摩川いかだレース」に乗船しているほか、「多摩川一斉水質調査」、「炭酸水体験と水辺の交流会」にもボランティアとして積極的に参加している。



石坂真悟 (いしがき しんご)

2004年東京農業大学森林総合科学科卒業。都内森林系財団法人および、環境系NPO法人に勤務した後2005年より山梨県小菅村に移住し「多摩川源流大学現地責任者」として活動。NPO法人多摩源流こすび事務局も兼任し、村内の活動以外にも多摩川を通じて下流域へ村の魅力、源流の森の現状などを伝える活動を行っている。

主催：環境省 共催：羽村市

お問い合わせ先：「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト
全国リレーフォーラム事務局

Tel. 03-3505-1253 E-mail info@morisatokawaumi.jp

時間 平日 10:00～18:00 (土・日・祝祭日、平日 12:00～13:00を除く)

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトについては、ホームページをご参照ください。

http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/

会場アクセス：JR青梅線羽村駅東口下車 徒歩8分



羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」小ホール
〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘1丁目11-5